京都市のごみ処理施設

北部クリーンセンター (H19稼働)

焼却400t/日 ごみ発電8,500kW

(併設) 北部資源リサイクルセンター

処理能力(※1) 40t/日

西部圧縮梱包施設(H19稼働)

処理能力(※2) 60t/日

R5.3.31に廃止し、処理を民間業者に委託

南部クリーンセンター (R1稼働)

焼却500t/日 ごみ発電14,000kW (併設) バイオガス化施設

処理能力60t/日

バイオガス発電1,000kW

(併設) 選別資源化施設

破砕180t/日

南部資源リサイクルセンター(H11稼働)

処理能力(※1) 60t/日

横大路学園* (H19稼働)

処理能力(※2) 20t/日

廃食用油燃料化施設 (H16稼働)

処理能力 5,000リットル/日

<リサイクル施設の処理対象物> ※1:缶・ぴん・ペットポトル、※2:ブラスチック類

<凡例>

- ○ごみ焼却施設
- 粗大ごみ破砕施設
- ◎ リサイクル施設
- 埋立処分地

東北部クリーンセンター (H13稼働)

焼却700t/日 ごみ発電15,000kW

(併設) 破砕施設 破砕 80t/日

東部山間埋立処分地 (H12供用開始) 埋立容量450万m³

* 横大路学園: 障害福祉サービス事業所として、 ブラスチック類の選別を

実施している施設









(参考) 南部クリーンセンター焼却施設

最終処分場



焼却残灰、不燃物の埋立処分地

昭和 52 年 3 月 計画発表

建設開始 昭和58年度

埋立開始 平成 12 年度

350万m3(覆土を除く) 埋立容量

残余容量 212 万 m3 (令和6年3月31日時点)

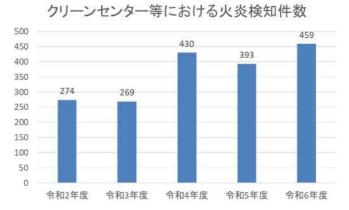


クリーンセンター等※における火炎検知について

※クリーンセンター、リサイクルセンター、横大路学園、西部圧縮梱包施設



リチウムイオン電池の燃え殻



ごみの中のリチウムイオン電池を含んだ製品が原因で、ごみを処理する過程において、火炎 の検知件数が急増しています。